

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 7 日

上場会社名 株式会社ディースリー

(JASDAQ・コード番号: 4311)

(URL <http://www.d3i.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊藤 裕二
責任者役職・氏名 常務取締役 小寺 健治

TEL : (03) 5428-8830

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結（新規） 1 社（株式会社ディースリー・パブリッシャー）

前連結会計年度は決算期を変更し 5 ヶ月の変則決算となっており、第 3 四半期決算を実施しておりませんので、前第 3 四半期連結会計期間の財務・業績及び同期間との比較増減は記載しておりません。

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期第 3 四半期	7,600	276	340	26
(参考)18 年 3 月期	2,319	△53	△30	△139

	1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	1,244 60	1,233 62
(参考)18 年 3 月期	△6,675 66	— —

- (注) 1. 平成 18 年 3 月期は、1 株当たり当期純損失が計上されているため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は記載しておりません。
2. 平成 18 年 3 月期は、決算期変更により 5 ヶ月決算（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）となっております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

(国内)

コンシューマ事業につきましては、低価格ゲームソフトにおいて、ハードの出荷が好調な「ニンテンドー DS」向け『SIMPLE DS シリーズ』を含め、主にライトユーザーをターゲットとした『SIMPLE シリーズ』で新たに 11 タイトル（当第 3 四半期累計で 26 タイトル）を発売いたしました。

フルプライスゲームソフトにおきましては、『SIMPLE シリーズ』で好評を博した『THE 地球防衛軍 2』及び『THE お姉チャンバラ』を、「Xbox360」向けに『地球防衛軍 3』及び『お姉チャンバラ vorteX』として発売するなど新たな展開を進めるほか、女性向けゲームソフト『マーメイドプリズム』やパチンコパチスロ攻略ソフト『CR フィーバー パワフル ZERO』『CR 松浦亜弥』をはじめとしてコアゲームユーザーをターゲットとした 6 タイトル（当第 3 四半期累計で 12 タイトル）を発売いたしました。

この結果、当第 3 四半期におけるゲームソフトの国内販売本数は、17 タイトル投入の 38 万本の販売実績となりました。また、当第 1 四半期から当第 3 四半期まで（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）におけるゲームソフトの累計国内販売本数は、38 タイトル投入の 115 万本となりました。

モバイル事業につきましては、新たに携帯電話向けリッチゲームコンテンツとして『SIMPLE500 シリーズ』（ダウンロード課金制）の配信を開始し、第 1 弾として『THE 地球防衛軍モバイル』をリリースするなど、コンシューマ事業で培ったコンテンツのマルチユースを進めながら新たな携帯ゲームユーザーの開拓を進めてまいりました。

また、一部キャリアにおいてダウンロード課金制であった低価格ゲームコンテンツ『SIMPLE100 シリーズ』が全キャリアにおいて月額課金制サービスとなるなど、安定的かつ柔軟な収益構造の構築に努めてまいりました。『SIMPLE100 シリーズ』は引き続き毎月新作ゲームコンテンツを配信し、女性向けコンテンツ『こちら胸キュン乙女』（月額課金制）はコンシューマ事業と連動して随時新作アプリをリリースすることにより会員数が堅調に推移いたしました。

(海外)

北米におきましては、グローバルコンテンツ第1弾となる『Flushed Away』を発売し、47万本を出荷いたしました。また『NARUTO 2』の「ゲームボーイアドバンス」向けタイトルを10月に発売し、『NARUTO』は2タイトル合計で30万本を出荷いたしました。

欧州におきましては、『Flushed Away』を発売し、36万本を出荷いたしました。

この結果、当第3四半期におけるゲームソフトの海外販売本数は、4タイトル投入の北米83万本、欧州42万本の計126万本となりました。また、当第1四半期から当第3四半期まで（平成18年4月1日～平成18年12月31日）におけるゲームソフトの累計海外販売本数は、12タイトル投入の北米145万本、欧州45万本の計191万本となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期の連結業績は、売上高7,600百万円、営業利益276百万円、経常利益は340百万円となりましたが、特別損失32百万円、税金費用283百万円を計上したため、四半期純利益は26百万円となりました。

※ 事業の種類別セグメントの名称につきましては、当社グループの事業内容の見直しを行い、従来の「パッケージソフト事業」及び「ソフトウェアの受託開発事業」を統合して「コンシューマ事業」に、また、「ネットワーク事業」を「モバイル事業」にそれぞれ変更しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況 (百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	8,895	3,888	43.6	185,171 34
(参考)18年3月期	5,147	3,853	74.9	183,781 74

【連結キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	△1,494	△12	2,855	2,659
(参考)18年3月期	△735	△75	210	1,275

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、たな卸資産の増加、法人税等の支払等の減少要因があったものの、借入金による資金調達等の増加要因により、前連結会計年度末に比べ1,384百万円増加し2,659百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は1,494百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が309百万円となり、前渡金の減少269百万円、仕入債務の増加209百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加1,317百万円、たな卸資産の増加1,215百万円、法人税等の支払額114百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は12百万円となりました。これは主に定期預金解約による収入93百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出61百万円、無形固定資産の取得による支出36百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動から得た資金は2,855百万円となりました。これは短期借入金の純増額1,100百万円、長期借入れによる収入2,000百万円等によるものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、(要約) 四半期連結株主資本等変動計算書、
(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 9,583	百万円 514	百万円 54

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 2,591円62銭

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[業績予測に関する定性的情報等]

(国内)

コンシューマ事業につきましては、フルプライスゲームソフトとして、女性ユーザー向けに『VitaminX』、パチンコパチスロファン向けに『CR フィーバー キャプテンハーロック』をはじめ4タイトルの発売を予定しております。また、低価格ゲームソフト『SIMPLEシリーズ』では、引き続き新作リリース(5タイトルを予定)によるラインナップの充実を図りながら既発売タイトルの販売促進により販売増加を図ってまいります。

モバイル事業につきましては、『SIMPLE100シリーズ』及び『こちら胸キュン乙女』のより一層の会員増を図るべく諸施策を講じるとともに、新たに配信を開始した『SIMPLE500シリーズ』につきましては、全てのキャリア向けにコンテンツの充実を図る予定です。

(海外)

昨年開催された東京ゲームショウ 2006 において海外のゲームユーザーからも注目を集めた『地球防衛軍3』(「Xbox360」向け)の北米展開(『Earth Defense Force 2017(仮題)』)を予定しております。

上記の事業展開等により、平成19年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成18年11月6日発表の業績予想から変更はありません。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期第 3 四半期末)	(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	2,659,970	1,275,210
2. 売掛金	2,410,611	989,499
3. たな卸資産	2,453,976	1,228,473
4. 前渡金	342,167	613,693
5. その他	340,305	150,149
貸倒引当金	△1,719	△1,882
流動資産合計	8,205,312	4,255,143
II 固定資産		
1. 有形固定資産	128,666	89,263
2. 無形固定資産	155,088	227,013
3. 投資その他の資産	407,187	579,286
貸倒引当金	△784	△3,404
投資その他の資産合計	406,403	575,882
固定資産合計	690,158	892,159
資産合計	8,895,470	5,147,303

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期第 3 四半期末)	(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額
(負債の部)		
I 流動負債		
1. 買掛金	693,718	431,872
2. 短期借入金	1,400,000	300,000
3. 1年以内返済予定長期借入金	770,664	106,668
4. その他	932,168	346,733
流動負債合計	3,796,551	1,185,274
II 固定負債		
1. 長期借入金	1,190,000	89,997
2. 退職給付引当金	20,067	17,942
固定負債合計	1,210,067	107,939
負債合計	5,006,619	1,293,213
(少数株主持分)		
少数株主持分	—	554
(資本の部)		
I 資本金	—	1,733,485
II 資本剰余金	—	1,615,821
III 利益剰余金	—	495,360
IV 為替換算調整勘定	—	13,879
V 自己株式	—	△5,010
資本合計	—	3,853,535
負債、少数株主持分及び資本合計	—	5,147,303
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金	1,733,485	—
2. 資本剰余金	1,615,821	—
3. 利益剰余金	513,070	—
4. 自己株式	△5,010	—
株主資本合計	3,857,365	—
II 評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	25,307	—
評価・換算差額等合計	25,307	—
III 新株予約権	6,178	—
純資産合計	3,888,851	—
負債純資産合計	8,895,470	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期第 3 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額
I 売上高	7,600,379	2,319,747
II 売上原価	5,281,457	1,453,883
	売上総利益	865,864
III 販売費及び一般管理費	2,042,683	919,658
	営業利益又は営業損失 (△)	△53,794
IV 営業外収益	96,482	26,998
V 営業外費用	32,147	3,814
	経常利益又は経常損失 (△)	△30,609
VI 特別利益	535	7,210
VII 特別損失	32,045	255
	税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前当期純損 失 (△)	△23,654
	税金費用	125,034
	少数株主損失	△8,974
	四半期純利益又は当期純損 失 (△)	△139,714

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	1,733,485	1,615,821	495,360	△5,010	3,839,656
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△8,387		△8,387
四半期純利益			26,096		26,096
株主資本以外の項目の 四半期中変動額(純額)					
当四半期中の変動額 合計	—	—	17,709	—	17,709
平成18年12月31日 残高	1,733,485	1,615,821	513,070	△5,010	3,857,365

	評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定			
平成18年3月31日 残高	13,879	—	554	3,854,089
当四半期中の変動額				
剰余金の配当				△8,387
四半期純利益				26,096
株主資本以外の項目の 四半期中変動額(純額)	11,427	6,178	△554	17,051
当四半期中の変動額 合計	11,427	6,178	△554	34,761
平成18年12月31日 残高	25,307	6,178	—	3,888,851

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	309,063	△23,654
減価償却費	99,094	167,325
連結調整勘定償却額	—	19,097
のれん償却額	34,376	—
退職給付引当金の増加額	2,125	5,289
貸倒引当金の減少額	△2,783	△55,632
受取利息及び受取配当金	△6,017	△1,727
支払利息	23,205	2,178
為替差益	△76,800	△18,122
定期預金解約損	6,918	—
売上債権の増減額(△:増加)	△1,317,409	372,801
たな卸資産の増加額	△1,215,001	△1,071,524
前渡金の減少額	269,978	173,308
仕入債務の増加額	209,334	8,377
未払金の増減額(△:減少)	201,699	△42,525
その他	101,464	42,947
小計	△1,360,750	△421,862
利息及び配当金の受取額	6,029	1,999
利息の支払額	△25,442	△3,291
法人税等の支払額	△114,495	△312,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,494,658	△735,306
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,931	△35,095
無形固定資産の取得による支出	△36,141	△67,934
貸付けによる支出	△20,000	△5,500
貸付金の回収による収入	21,082	591
定期預金解約による収入	93,081	—
その他	△8,599	32,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,508	△75,323
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増額	1,100,000	300,000
長期借入れによる収入	2,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△236,001	△87,334
配当金の支払額	△8,359	△12,771
その他	—	10,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,855,639	210,007
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	36,287	16,840
V 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	1,384,760	△583,782
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,275,210	1,858,993
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,659,970	1,275,210

【平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結) 補足資料】

株式会社ディースリー

1. 四半期損益の推移(連結)

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q 合計
売上高	1,790	1,997	3,812	7,600
売上総利益	580	634	1,103	2,318
販売管理費	553	538	950	2,042
営業利益	27	95	153	276
経常利益	4	126	209	340
当期純利益	△149	65	110	26

2. 通期業績予想・第 3 四半期累計実績の比較

(単位:百万円)

	通期業績予想		第 3 四半期累計実績		進捗率(%)
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	
売上高	9,583	100.0	7,600	100.0	79.3
売上総利益	3,334	34.8	2,318	30.5	69.5
販売管理費	2,748	28.7	2,042	26.9	74.3
営業利益	586	6.1	276	3.6	47.1
経常利益	514	5.4	340	4.5	66.1
当期純利益	54	0.6	26	0.3	48.1

3. 会社別損益状況(第 3 四半期累計実績)

(単位:百万円)

	連結	持株会社	事業会社(注)		
		(株)ディースリー	日本	北米	欧州
売上高	7,600	778	3,209	3,401	1,036
売上総利益	2,318	290	1,121	866	326
売上総利益率(%)	30.5	37.3	35.0	25.5	31.5
販売管理費	2,042	270	670	1,100	243
販管费率(%)	26.9	34.8	20.9	32.3	23.5
営業利益	276	19	451	△233	83
営業利益率(%)	3.6	2.5	14.1	△6.9	8.0
経常利益	340	120	451	△276	77
経常利益率(%)	4.5	15.5	14.1	△8.1	7.4
当期純利益	26	66	216	△287	63
当期純利益率(%)	0.3	8.5	6.7	△8.5	6.1

(注) 事業会社の損益については、各地域の事業会社の決算数値をそのまま記載しており、日本は(株)ディースリー・パブリッシャー及び(株)エンターテインメント・ソフトウェア・パブリッシングの合計値、北米は D3Publisher of America, Inc. の単独値、欧州は D3Publisher of Europe Ltd. 及び D3DB S.r.l. の合計値を記載しています。

4. 販売本数実績の推移

(単位:千本)

		1Q	2Q	3Q	1-3Q	通期計画	進捗率
日本	フルプライス	185	87	121	393	460	85.6
	低価格	229	267	262	759	1,121	67.9
	計	414	354	384	1,153	1,581	72.9
北米	フルプライス	221	402	834	1,458	1,799	81.0
	低価格	—	—	—	—	—	—
	計	221	402	834	1,458	1,799	81.0
欧州	フルプライス	7	19	387	415	548	75.7
	低価格	—	—	40	40	41	97.9
	計	7	19	428	455	589	77.2
合計	フルプライス	413	509	1,344	2,267	2,808	80.7
	低価格	229	267	303	799	1,162	68.8
	計	643	776	1,647	3,067	3,971	77.2

※本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2006年12月末現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。